

平成19年度 第2回千葉市立博物館協議会議事録

- 1 日 時：平成20年3月25日（火） 午後1時30分～午後3時00分
- 2 場 所：千葉市立郷土博物館 1階 講座室
- 3 出席者：（委員） 委員長他5名出席（10名中6名）

委員長	岡本 東三
副委員長	西川 明
委員	青木 繁夫、鷹野 敏明、武田 昭子、福田 豊彦

（事務局）

生涯学習部長	宮野 光正
生涯学習振興課	本庄 賢一、倉田 義広
加曽利貝塚博物館	伊場 和良、村田 六郎太、飛田 正美
郷土博物館	西郡 哲、丸井 敬司、若菜 三郎、伊原 茂行
- 4 議 題
 - （1）平成19年度事業報告について
加曽利貝塚博物館
郷土博物館
 - （2）平成20年度予算・事業計画について
加曽利貝塚博物館
郷土博物館
 - （3）その他
復原住居再建について
郷土博物館整備事業について
- 5 議事の概要
 - （1）平成19年度事業報告について
両博物館における平成19年度の事業を各事業ごとに説明し、委員より意見を受ける。
 - （2）平成20年度予算及び事業計画について
両博物館における平成20年度の予算及び事業計画を各事業ごとに説明し、委員より意見を受ける。
 - （2）その他
加曽利貝塚博物館から「復原住居再建について」、郷土博物館から、「郷土博物館整備について」説明して、委員より意見を受ける。
- 6 会議経過

午後1時30分、委員10名中6名着席、池田委員・高山・千代・西本委員は欠席。
西郡郷土博物館長から、千葉市立博物館協議会運営規則第3条の規定により、この会議が成立していることが告げられ開会した。
宮野生涯学習部長の教育委員会挨拶の後、岡本委員長が挨拶をした。
岡本委員長より、本会議の議事録署名人として西川委員を指名した。
岡本委員長を議長として、議事が進行した。
協議会終了後、希望委員により科学館見学を実施した。

議事(1)平成19年度事業報告について

< 説 明 >

飛田・若菜係長 はじめに、加曽利貝塚博物館における入館状況・加盟団体等への参加状況、事業結果として、維持管理事業・資料収集保管事業・調査研究事業・展示事業・教育普及事業・博物館整備事業について飛田係長より説明し、引き続き、郷土博物館における入館状況・加盟団体等への参加状況、事業結果として、維持管理事業・資料収集保管事業・調査研究事業・展示事業・教育普及事業・天文普及事業・市史編纂事業・博物館整備事業について若菜係長より説明する。

< 質疑応答 >

岡本委員長 事務局より平成19年度の事業報告がありましたが、ご質問、ご意見はありませんか。

青木委員 加曽利貝塚博物館の縄文住居復元講座について、他の博物館では例を見ませんが、評判はどうでしたか。

飛田係長 どこでもやっておりませんので、暗中模索で実施しました。以前から計画しており、千葉東ライオンズクラブや四街道市生涯大学学友会等多くの人の協力のもと、市民を公募して実施しました。過酷な時期を設定しましたので、前半は講義をおこないました。萱葺きは、専門的なものなので、学芸員と専門家でおこない、市民の方には資材を運んだり、ロープを切るという安全面を考慮して実施しました。市民の感想は、大変有意義であった、こんなに大変なものなのか、萱葺きの伝統文化を知ることができた等でした。本講座は引き続き実施していきたいと考えています。

武田委員 郷土博物館の環境調査はどのような内容の調査をおこない、その結果はどうでしたか。

若菜係長 調査内容は一番大きいのは虫害についてで、一般的なトラップとフェロモントラップ3種で調査、また大気の状態、温度・湿度、光の照度や紫外線などの程度の劣化影響があるか調査しました。結果、玄関が開いている状態なので、虫については夏場には多数入るが、冬場入らなければ対策は不用だが、今回若干冬場でも虫が入ってきたので、対策を考える必要があります。収蔵庫は特に問題はありませんでした。収蔵庫の湿度は変動が多いため、冬場は加湿しています。3回目の調査で短期的な変動がありました、その場合資料に影響を与えるので、今後検討していきたい。本館の空調設備は1階のみなので2階3階も整備する必要があります。虫害は空気の入れ替えを図ることで防げます。平成13年度の改修工事で密閉性があがったため虫害の原因が少なくなっていますが、今後委託業者と相談して対策を考えていきたい。

福田委員 私、県史の編纂のお手伝いをしております。郷土博物館では市史研究講座をおこなっていますが、その際、県史編纂がほとんど終わっており、新しい問題もでておりますので、県史を書かれた人たちの知恵を使っていくと役に立つと思います。千葉市史編纂にも役立ちます。いままで、千葉大系図がかなり信用されていますが、かなり間違いがあります。千葉介に胤綱がいるが吾妻鏡では年を生かすため過去帳を使わずに、親父の子ではなく、じいさんの子としたので、後困ってしまったということがございました。使い道のあるうち、県史を書いた人たちを使うのも良い方法です。

丸井副館長 県史の成果を、研究講座に生かしていきたいと考えています。

岡本委員長 天文関係の資料は、どうなりますか。

宮野部長 天文資料は貴重な資料でございます。資料をA・B・Cとランク付けし、Aランクは、美術館収蔵庫に保管し、B・Cランクは郷土博物館収蔵庫で保管します。科学館は、指定管理者で民間であり、また温湿度管理できる施設がないので、移管しません。科学館が企画展等で必要なときは貸し出す予定です。

議事(2)平成20年度予算・事業計画について

< 説明 >

飛田・若菜係長 加曽利貝塚博物館における平成20年度予算・事業計画について飛田係長より説明し、引き続き、郷土博物館における平成20年度予算・事業計画について若菜係長より説明する。

< 質疑応答 >

岡本委員長 事務局より説明がありましたが、ご質問、ご意見はありませんか。

福田委員 郷土博物館の特別展のテーマ「千葉の医学と医療」は、面白く、重要なテーマで、かなり具体的なものがありそうです。今後、大きな問題になりそうな医学と医療それに保険、それを引っ掛けると面白いと思う。

丸井副館長 今回の特別展は、千葉大の図書館の資料を利用させていただく予定です。千葉市の近代の歴史の柱の一つとして、軍事施設と千葉大の医療がありますが、今回の展示につきましては、千葉市の医療の発展と考えております。開催にあたり、千葉大との共催を予定して準備を進めているところです。

青木委員 加曽利貝塚博物館の整備事業は野外施設の保全管理と管理用道路整備ですか。

村田副館長 野外施設の保全管理のみです。

議事(3)その他

< 説明 >

飛田係長 加曽利貝塚博物館における「復原住居再建について」飛田係長より説明し、引き続き、郷土博物館における「郷土博物館整備事業について」丸井副館長より説明する。

< 質疑応答 >

岡本委員長 事務局より説明がありました。ご質問、ご意見をお願いします。

岡本委員長 科学館は、指定管理者制度で新しい形になっています。科学館の管理運営に関して、今までこの協議会の中でお話できましたが、そちらには独自のものがあるのでしょうか。5カ年計画や将来の博物館構想を策定する上で、科学館や美術館等について、この協議会ですべてやっていくのも不思議ですが、総合的なことを組み立てていく上で、それぞれがさまざまな事業をやっている、どうしたものなのかな。

西川委員 縄文・古代の加曽利貝塚博物館、こちらの郷土博物館それなりに整理されていますが、郷土博物館は、亥鼻を中心に郷土博物館を生かし美術館や科学館・都川とうまく連動させながら博物館構想を考えていく、そのような捉え方をしてもらいたい。

岡本委員長 将来を含め、全体の中で総合的な博物館構想を考えていく必要があります。

宮野部長 計画行政の中では、博物館構想の策定ということが必要です。当初、博物館は加曽利と郷土の2館という認識でした。しかし、博物館類似施設もたくさんあり、それも博物館であると分かりました。個々の所管で個々の計画をたて施設をつくってきましたが、科学館ができて千葉市において博物館と呼べるものの建設は、大方は収束したと思っています。今後は、市民に知っていただき、有効活用に移っていく必要があります。第3次5カ年計画に向かい、博物館構想を策定していき、教育委員会だけでなく経済農政局、市民局と連携しながら、千葉市の歴史的資産をどうやって後世に伝えるか、市民に活用できるか提案できればと考えています。

岡本委員長 新しい5カ年計画に入れていただきたい。

宮野部長 市の職員に博物館とはこのようなものだと知ってもらうために、博物館構想をつくっていくことが必要だと思います。

議長から他の意見を求めたが、他に意見がなく質疑終了となった。

丸井副館長 本日の博物館協議会にあたり、加曽利貝塚博物館の伊庭館長が閉会を申し上げます。

伊場館長 本日いただきましたご指摘・ご意見の内容を、今後の事業運営に反映させながら、博物館事業の更なる充実に努めたい。これをもちまして、平成19年度第2回千葉市立博物館協議会を閉会とします。

議事録署名人 西川 明
(確定承認委員)